

生体医工学フォーラム 2012

福島震災復興支援のための医工学フォーラム

in Aizu

第1回



平成24年5月14日(月) 午前11時～午後6時

會津稽古堂 (会津若松市生涯学習総合センター) 多目的ホール

入場料無料

事前登録をお願いいたします。Mailでお申込みください → E-mail: secretary@bmeaizu.org

主催：日本学術会議生体医工学分科会 日本生体医工学会

後援：福島県 会津若松市(予定) 会津若松商工会議所

公立大学法人 福島県立医科大学(予定) 公立大学法人 会津大学

国立大学法人 東北大学(医工学研究科、医学系研究科、工学研究科)

厚生労働省(予定) 経済産業省(予定)

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)(予定) 社団法人 日本医療機器工業会 医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)



開催の趣旨

2011年3月11日、東日本に甚大な損害をもたらした大震災・津波から、1年を経過しましたが、地震により住む家を破壊されたり、津波によってすべての生活基盤を失うなど被災された皆さんは、まだ、災害直後と変わらぬ厳しい条件のもとで苦しんでおられます。

この東日本大震災によって被災した地域の人々は、我が国近代のはじまる時に戦火に遭い、発展を遅らされ、また、第2次大戦後の我が国現代社会の復興・高度成長においても、産業の後背地として、労働力の供出、産業原料の提供などを専ら担ってきました。この地域は、我が国経済社会の基礎をなしながらも日の当たらないことが多かったのも事実です。とりわけ、我が国社会の構造の大転換とよぶべき近年の少子高齢化は、最近でこそ産業集積地においても問題となりつつありますが、東北の地においてはすでに久しく地域社会の発展における課題でありつづけて来ました。このような背景があればこそ、福島第一原子力発電所の大災害とその後の展開に典型的にみられた、過疎地であることを前提とするエネルギー供給型経済への全面的な依存が、人々をますます苦しめています。

福島県は、このような状況の下で、人口構成と分布が、全く変わらざるを得ないほどの大打撃をうけており、これ乗り越えて、地域の復興、再発展を期することは、並大抵のものではない努力と我が国をあげた支援を必要とすることは明白な事実です。広範な地域社会を一挙に破壊したこの大震災とそれに引き続く二次的災害から立ち上がるためには、これまでの産業構造とは異なる、未来のある産業を創成し、ここに再構成される社会構造の復興を重ねていく努力が必要だと考えられます。

社会の少子高齢化は、ともすれば、否定的な文脈でのみ議論されますが、健康な長寿者が安心して生活できる社会を作り上げるという目的を設定できれば、そこには、これまでにない新しい人間中心の産業社会を構築するための大きな発展の契機が存在しています。特に、高齢化に伴って避けがたい有病化は、医療機器産業にとって大きなビジネスチャンスを提供するものでもあり、また、関連諸学、諸技術にとって極めて魅力ある研究と開発の対象を見いだす機会を提供するものであることを忘れてはなりません。

福島県は、震災以前から、医療産業の集積を目標に活動して来られましたが、まだ、本当にその実が上がる前に、この度の震災の被害を受けることになりました。私たち、生体医工学、医療機器関連産業分野、そして、政府各一方で、この分野を推進してきた関係者が一堂に会し、今後の福島県の復興支援としての医療機器産業振興のために、衆知を結集することは、震災後1年を経て、再度立ち上がろうとしている人々と、我々が共にあることを示すばかりでなく、この経験を突破口として我が国社会全体の復興を目指すための第一歩となるものと考えます。

開催概要

- 会 期：平成24年5月14日(月) 午前11時～午後6時
- 会 場：会津若松市生涯学習総合センター(會津稽古堂) 多目的ホール
〒965-0871 福島県会津若松市栄町3-50 TEL: 0242-22-4700 FAX: 0242-22-4702
<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/ja/kyoiku/gakusyusenta/index.htm>
- 主 催：日本学術会議生体医工学分科会 日本生体医工学会
- 後 援：福島県 会津若松市〔予定〕 会津若松商工会議所
公立大学法人福島県立医科大学〔予定〕 公立大学法人会津大学
国立大学法人東北大学大学院医工学研究科、同 医学系研究科、同 工学研究科
厚生労働省〔予定〕 経済産業省〔予定〕
独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)〔予定〕
社団法人日本医療機器工業会
医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)



プログラム

- 11:00-11:15 開会挨拶と趣旨説明：山口 隆美（日本学術会議生体医工学分科会委員長）
- 11:15-11:25 挨拶：竹之下 誠一（福島県立医科大学副理事長・教授）
- 11:25-11:35 挨拶：角山 茂章（会津大学学長）
- 11:35-11:45 挨拶：福島県（予定）
- 11:45-12:00 挨拶：会津若松市（予定）

12:00-13:00 第1部

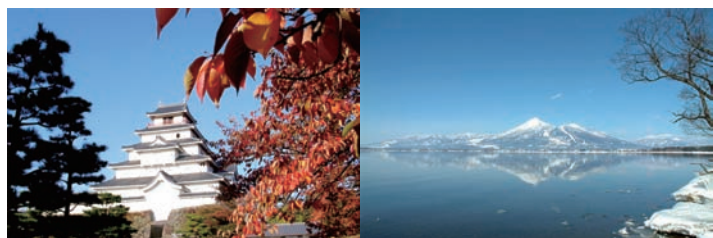
- 1 基礎医学としての生体医工学研究教育の現状について**
大隅 典子（日本学術会議会員、東北大学医学系研究科教授）
- 2 医療画像による心臓弁の運動の解析について**
岡 隆一（会津大学コンピュータ理工学研究科教授）
- 3 手術ロボット開発の現状について**
佐久間 一郎（東京大学工学系研究科教授）
- 4 震災対応医療機器の開発について**
田村 俊世（日本生体医工学協会理事長、千葉大学工学部教授）

13:00-14:00 昼食休憩

14:00-17:00 第2部

- 1 我が国の医療イノベーション振興策について**
講演者未定（内閣官房 医療イノベーション推進室）
- 2 厚生労働省における医療機器開発支援について**
関野 秀人（厚生労働省 医療機器政策室長）
- 3 経済産業省における医療福祉機器産業振興策について**
講演者未定（経済産業省 医療福祉機器産業室）
- 4 日本初の医療機器の開発 ～PMDAができることは何か～**
鈴木 由香（医薬品医療機器総合機構 医療機器審査第二部長）
- 5 東北大学医工学研究科の研究教育と震災復興への関与について**
松木 英敏（東北大学医工学研究科長・教授）
- 6 東北大学医学部・医学系研究科の震災復興への取組**
大内 憲明（東北大学医学系研究科長・教授）
- 7 東北大学工学部・工学研究科の震災復興への寄与**
金井 浩（東北大学工学研究科長・教授）

17:00- 閉会挨拶：出江 紳一（日本学術会議連携会員、東北大学医工学研究科教授）



アクセス



會津稽古堂

会津若松市生涯学習総合センター

〒965-0871 福島県会津若松市栄町3-50

TEL: 0242-22-4700 FAX: 0242-22-4702

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/ja/kyoiku/gakusyusenta/index.htm>

お問合せ

福島震災復興支援のための医工学フォーラム実行委員会
NPO法人 REDEEM 内

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区青葉6-6-01 東北大学大学院医工学研究科(機械・知能系)内

TEL: 022-795-5030 FAX: 022-795-5031

E-mail: secretary@bmeaizu.org URL: <http://www.bmeaizu.org>